

平成25年7月10日

海拔表示の設置に関する提言

原町区地域協議会 高野正三

東日本大震災を踏まえ津波被害が想定される地域(本市は未設置)では災害発生時に備え迅速な避難の目安として海拔表示の設置が進められています。
発災時に住民が安全に避難し的確な避難経路を想定するためにはきわめて大事なことで被害の低減また二次災害の防止には欠くべからざる大事であります。
国としても津波被害の想定される地域に国道などの道路脇の標識や歩道橋の柱に海拔表示を決めた。県や各自治体にも同様の対応をするよう要請しています。住民の防災意識を高め避難時に役立ててもらうのが狙いです。
本市においても早急の実施をお願いするものです。

さらに設置場所が確定された暁にはハザードマップ(災害予測図)に図示すべきです。ハザードマップは自然災害による被害を予測しその範囲を地図化したものです。自然災害が相手だけに予測を超える災害発生の際には必ずしも対応できない可能性はありますが掲載情報の取舍選択、見易さ、情報硬直化の危険性などの問題も合わせてたえず見直しが必要なものと思います。海拔表示の地点表示がなされればより充実したものになります。
当件が実施され住民の安心、安全の一助になることを望みます。